

令和5年度 事業計画書

公益財団法人一橋大学後援会

公益財団法人一橋大学後援会は、令和5年度において、その目的を達成するため、定款第4条各号の規定に基づき次の事業を実施する。

事業計画総額 88,991千円

I 一般事業 31,361千円

1. 教育・学術研究活動に対する支援 14,881千円

(1) 教員等海外派遣事業 2,000千円

次の指針に基づき選考された若手教員等の海外における研究活動（調査、研究及び資料収集等）に対して旅費等を支援。

- ・全学的に公募すること
- ・満45歳未満であること
- ・派遣期間は6か月以上であること
- ・一人に対して2,500千円を上限とすること
- ・派遣者の義務として、後援会及び如水会が主催するセミナー等（如水会員・一般市民等も含む）の講師を担当すること
- ・研究活動成果を大学WEBサイトで広く一般に向け公表し、学外における講演会等においても発信する

(2) 学生相談支援事業 10,495千円

学生が安心してキャンパス生活を送ることができるように支援の充実を図るため、学生相談室における以下のような雇用の実現を支援する。

- ①学生からの広範な相談に応じるためのカウンセラー（契約職員）
- ②相談内容の確認や各カウンセラーへの適切な振り分けなどを担当する臨床心理士等の資格を持った学生相談補助員
- ③受付業務等を担う事務補佐員

(3) 就職支援事業 2,386千円

学生が安心して就職活動を行うことができるように支援の充実を図るため、個別就職相談に応じるスポットキャリアアドバイザーの雇用や学生のキャリア面談予約、更には進路決定届の提出等の利便性向上に資する就職支援管理データベースシステムの利用契約を行うための経費を支援する。

(4) アカデミア支援事業 0千円

日本社会やそれぞれの地域が抱える諸問題について、一橋大学が保有する知的資源を活用した分析をもとに解決のための方策を提唱することで社会貢献をするべく、関西地方や中部地方においてアカデミア（いずれもシンポジウム形式）を開催しているが、その開催経費を支援している。

令和5年度も下期の開催を計画しているが、時期や形式については現在検討中である。但し、令和5年度の経費支援については、予算執行残額の繰越分を考慮して見送りとする。

- (5) 大学運営等支援事業 0千円
 大学及び各部局等における運営を円滑に推進するための経費や、大学に関連する組織及び地域社会との交流活動等において大学運営に必要な経費を支援する。
 令和5年度の事業は見送ることとする。

2. 教育・研究の国際交流に対する支援	16,480千円
----------------------------	-----------------

- (1) 外国人研究者等招聘事業 9,000千円
 一橋大学と世界のアカデミック・コミュニティとの連携強化、一橋大学の研究教育の発展ならびに国際的な学術交流を通じた社会への貢献を目的として、優れた外国人研究者等を招聘するために必要な経費を支援する。

- (2) 国際交流セミナー 0千円
 若手研究者や学生の研究教育の意識向上、世界に羽ばたく人材の育成、ならびに一橋大学の更なる国際競争力強化を目的として、海外から著名な研究者を招き、一橋大学での講演を「一橋大学国際交流セミナー」と題して実施するために必要な経費を支援する。
 令和5年度は、予算執行できなかつた残額を考慮し、支援を見送る。

- (3) 国際化支援事業 0千円
 以下のような一橋大学の国際化を推進するための各種取組の実施に必要な経費を支援する。
 ①留学生にとって魅力のある学修・生活環境を構築する。
 ②国外の大学との人的ネットワーク構築や共同研究実施の円滑化を図る。
 ③本学学生を海外で研修させる等により国際的視野を育成する。
 令和5年度は、予算執行できなかつた残額を考慮し、支援を見送る。

- (4) 受入交換留学生（インバウンド）奨学金事業 7,480千円
 海外大学に在籍する優秀な学生を交換留学生として受け入れることで、一橋大学の学生の英語でのコミュニケーション能力向上と派遣留学先の多様化を図るため、一橋大学が特に重要視する協定校からの交換留学生数を増やすことを目的として、交換留学生向け奨学金の支給費用を支援する。

II 指定事業 48,430千円

○寄附者の寄附目的に沿った事業

1. 指定事業費（A）武山基金	1,030千円
------------------------	----------------

研究者の研究成果出版を支援する目的で寄附された基金。
 主に若手研究者を対象とし、今年度は1件の出版を支援する。

2. 指定事業費 (B) 学問風土育成基金	2, 800千円
-----------------------	----------

講義実施を支援する目的で寄附された基金。

今年度は、次の講義実施に係る人件費などの必要経費を支援する。

1. 如水会が開講している「寄附講義」
 - 1) 社会実践論 (学部教育)
 - 2) キャリアゼミ (学部教育)
2. 公認会計士如水会の協力を得て商学部が開講している講義
Interactive Course on Business Basics (Accounting) (学部教育)

3. 指定事業費 (C) 課外教育振興基金	40, 000千円
-----------------------	-----------

課外教育を支援する目的で寄附された基金。

体育及び文化に係る各クラブ等の積極的な活動に係る必要経費、活動拠点 (他大学との練習試合や交流戦) の設備や物品の整備・充実、および活動報告書作成経費等を支援する。

4. 指定事業費 (E) 植樹会基金	600千円
--------------------	-------

一般市民にも開放された、本学のキャンパス (緑地) 整備を支援する目的で寄附された基金。

一橋大学のキャンパス緑地計画に基づき、植樹会が実施する事業を支援する。

5. 指定事業費 (F) 障害学生支援基金	0千円
-----------------------	-----

障害を持つ学生を支援する目的で寄附された基金。

障害を持つ学生の就学や生活上の各種支援、障害を持つ学生を支援する教職員および学生等への各種支援を行う。

令和5年度の支援は見送ることとする。

6. 指定事業費 (G) 大学史編纂基金	800千円
----------------------	-------

一橋大学史編纂を支援する目的で寄附された基金。

学園史資料室の整備、資料の整備、目録作成および一般公開に対する支援を行う。

7. 指定事業費 (H) HEP SA 交換留学生基金	0千円
-----------------------------	-----

本学学部学生の海外派遣留学を支援する目的で寄附された基金。

交換留学生の旅費等の支援を行うが、派遣に必要な基金が十分確保されていないことから、令和5年度の支援は見送ることとする。

8. 指定事業費（I）傘寿記念基金	2,900千円
-------------------	---------

如水会員の傘寿を記念として、学生生活の向上を支援する目的で寄附された基金。

令和5年度は、引き続き、一般市民にも開放される図書館に設置した「傘寿記念基金文庫」の充実を図る。

9. 指定事業費（J）育児支援基金	300千円
-------------------	-------

男女共同参画事業の一環として、本学の教職員・学生を対象とした育児を支援する目的で寄附された基金。

令和5年度は、対象となる教職員及び学生のベビーシッターの派遣等の事業に必要な経費を支援する。

10. 指定事業費（K）災害奨学基金	0千円
--------------------	-----

災害等により経済的な被害を受けた学生及び院生を支援する目的で寄附された基金。

令和5年度の支援は見送ることとする。

Ⅲ 管理費 9,200千円

1. 管理費	9,200千円
--------	---------

当後援会の管理、運営及び広報活動等に必要な経費を計上する。

令和5年度においても、寄附金の増収を図るべく、主として、次の事業を実施する。

- 1) 一橋大学への各種支援事業の内容とともに、当後援会の寄附金が税額控除の対象であることの周知を引き続き展開する。
- 2) 各事業に係る広報について、ホームページの活用・充実を図る。
- 3) アニュアルギフトによる利用者拡大を図る。
- 4) 指定事業の各関係者（課外教育振興基金においてはOB・OG会も含め）との連携強化を図る。

なお、令和5年度は人件費の増加（前年度比+2,000千円）を見込む。

以上

令和5年度収入・支出予算書

(単位：千円)

事 項	令和5年度	令和4年度	増 減	備 考
収入の部				
I 寄附金収入	82,561	65,126	17,435	
I 一般事業	32,561	15,126	17,435	
1) 一般寄附金	4,761	7,326	△ 2,565	
2) 如水会寄附金	27,800	7,800	20,000	
2 指定事業	50,000	50,000	0	
1) (A) 武山基金	0	0	0	
2) (B) 学問風土育成基金	2,800	2,900	△ 100	
3) (C) 課外教育振興基金	44,000	43,000	1,000	
4) (E) 植樹会基金	300	800	△ 500	
5) (F) 障害学生支援基金	0	0	0	
6) (G) 大学史編纂基金	350	400	△ 50	
7) (H) HEPSA交換留学生基金	250	300	△ 50	
8) (I) 傘寿記念基金	2,000	2,300	△ 300	
9) (J) 育児支援基金	300	300	0	
10) (K) 災害奨学基金	0	0	0	
II 財産運用収入	8,000	8,000	0	
収入合計	90,561	73,126	17,435	
支出の部				
○事業費	88,991	64,156	15,635	
I 一般事業費	31,361	15,926	15,435	
1 教育・学術研究活動支援	14,881	14,726	155	
(1) 教員海外派遣事業	2,000	0	2,000	
(2) 学生相談支援	10,495	10,240	255	
(3) 就職支援	2,386	2,347	39	
(4) アカデミア支援事業	0	2,139	△ 2,139	
(5) 大学運営等支援事業	0	0	0	
2 教育・研究の国際交流支援	16,480	1,200	15,280	
(1) 外国人研究者招聘事業	9,000	0	9,000	
(2) 国際交流セミナー事業	0	0	0	
(3) 国際化支援事業	0	0	0	
(4) 受入交換留学生(イバカント)奨学金事業	7,480	1,200	6,280	
II 指定事業費	48,430	48,230	200	
1 (A) 武山基金	1,030	1,030	0	
2 (B) 学問風土育成基金	2,800	2,800	0	
3 (C) 課外教育振興基金	40,000	40,000	0	
4 (E) 植樹会基金	600	500	100	
5 (F) 障害学生支援基金	0	0	0	
6 (G) 大学史編纂基金	800	1,000	△ 200	
7 (H) HEPSA交換留学生基金	0	0	0	
8 (I) 傘寿記念基金	2,900	2,600	300	
9 (J) 育児支援基金	300	300	0	
10 (K) 災害奨学基金	0	0	0	
○管理費	9,200	7,200	2,000	
1 給与手当	6,600	4,500	2,100	
2 会議費	500	500	0	
3 旅費交通費	67	60	7	
4 通信運搬費	500	535	△ 35	
5 手数料	50	30	20	
6 消耗品費	60	100	△ 40	
7 印刷製本費	100	150	△ 50	
8 賃借料	98	120	△ 22	
9 法定福利費	420	400	20	
10 委託費	800	800	0	
11 雑費	5	5	0	
12 予備費	0	0	0	
支出合計	88,991	71,356	17,635	
収支差額(正味財産増減)	1,570	1,770	△ 200	